



地方創生関係交付金 令和4年度活用事業について

地方創生関係交付金

内閣府による交付金。地方公共団体が策定する地方版総合戦略に基づく地方創生に特に資する取組として採択された事業について、事業費の1/2が地方公共団体に交付される。主要な事業として①地方創生推進交付金（ソフト事業）、②地方創生拠点整備交付金（ハード事業）がある。

参考：内閣府施策説明資料（別添）

鶴岡市の活用状況（令和4年度以降、予定含む）

| | | | | |
|---------------|--------|-------|--------|---------|
| ① 地方創生推進交付金 | 継続10事業 | 新規4事業 | 合計14事業 | 👉2～8ページ |
| ② 地方創生拠点整備交付金 | 継続1事業 | | 合計1事業 | 👉9ページ |

※2～9ページの各事業の内容・金額は、R4交付金申請段階の内容であり、採択可否等により変更の場合あり

令和4年度 地方創生推進交付金 活用予定事業

令和3年度以前からの
継続事業(10)

資料3



(1) 移住定住・人材確保戦略的展開事業

広域連携

| 事業期間 | R3内示額 | R4計画額 | 事業費総額 (予定含む) | 事業の概要 | 令和4年度 具体的な取組・経費(予定) |
|-------------------|--------------|--------------|-----------------|--|---|
| 令和 元年度～ 5年度 | 14,278 千円 | 15,889 千円 | 57,020 千円 | <p>県・市町村・企業・大学等「オール山形」で、新たな推進組織(新法人)を設立し、人材確保と移住定住策を一体的・戦略的に展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーション戦略 2 マッチング・相談戦略 3 定住・定着戦略 4 総合的な推進体制の構築 | <ol style="list-style-type: none"> 1 コミュニケーション戦略の本格的展開 (1) 市町村の情報提供ツール他、情報発信に係る事業 2 マッチング・相談戦略の本格的展開 (1) セミナーの開催や各種フェア等への出展 (4) 首都圏の移住希望者を誘導するプログラムの開催 移住・起業に係る交流会・講習会等の開催 3 定住・定着戦略の本格的展開 (4) 移住定住施策を一体的に展開するための専任の移住コーディネーターの配置 <p>【ハード事業】</p> <ol style="list-style-type: none"> 3 定住・定着戦略の先行展開 (4) 空き市営住宅2戸を移住希望者向けのお試し住宅として整備 |

(2) シルクノチカラ×SDGsでつなぐ次世代交流・産業創造プロジェクト

市単独

| | | | | | |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|---|--|
| 令和 2年度～ 4年度 | 36,240 千円 | 38,006 千円 | 97,709 千円 | <p>鶴岡市民のシビックプライド、アイデンティティに深く関わり、人々を惹きつける力を失わない鶴岡のシルクの魅力を最大限に活用し、保存活用の動きが進む原点の地・国指定史跡松ヶ岡開墾場をその結集拠点として、歴史文化の継承と磨き上げ、本質に触れる体験を通じた絹産業と観光の融合、新たな価値創造の連鎖を生み出す土壌づくりに取組み、国内外からの交流人口・関係人口の拡大、地域経済の活性化、次代を担う人材の育成と定着を図る。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1 新団体による歴史文化伝承・拠点施設運営事業 (1)松ヶ岡開墾場4番・5番蚕室管理運営業委託料 2 歴史文化伝承推進事業 (1)インフォメーション施設魅力向上事業補助金 (2)松ヶ岡開墾場管理運営委託料 (3)施設管理費(光熱水費等) (4)市民参加型養蚕体験 (5)絹産業普及啓発展示会開催 3 日本遺産サムライゆかりのシルク推進協議会支援事業 (1)日本遺産アドバイザー(東北芸術工科大学中山学長)による運営団強化コーディネート (2)運営体制の構築、確立支援業務委託 (3)ブランド魅力創造、発信、体験プログラム試行の拡大展開事業 (4)シルクノチカラ コンソーシアム推進(高校等と連携)事業 (5)広報・事務経費等 |
|-------------------|--------------|--------------|--------------|---|--|



令和4年度 地方創生推進交付金 活用予定事業

令和3年度以前からの
継続事業(10)

資料3



(3) 産業文化遺産と映画機能のクリエイティブな継承による中心市街地賑わい再生プロジェクト

市単独

| 事業期間 | R3内示額 | R4計画額 | 事業費総額 (予定含む) | 事業の概要 | 令和4年度 具体的な取組・経費（予定） |
|-----------|-------------|--------------|-----------------|--|---|
| 令和3年度～5年度 | 4,000 千円 | 32,908 千円 | 39,908 千円 | <p>中心市街地の貴重な産業文化遺産であり市民に親しまれてきた旧鶴岡まちなかキネマを映画機能を備えたまちづくり拠点として整備し、公民連携体制のもと、文化・教育・福祉・地域振興事業との融合を図り、まちづくり会社による持続的に事業を推進する仕組みを構築する。「多様な交流等を創出する拠点整備と運営体制構築」と「魅力あふれる多様な事業連携による新しい交流等の創出」を柱に、まちなかの価値向上と交流人口の拡大を図り、安定的かつ持続的で求心力のある中心市街地の形成に貢献し、市民が将来にわたり生きがいの持てる豊かな地域社会を実現する。</p> | <p>1 まちづくり会社運営支援事業 (1) スタッフ人件費（山王まちづくり(株)支出経費の一部補助） (2) 広報PR・システム更新経費</p> <p>【ハード事業】 1 映画機能付交流スペース改修工事 (1) 改修工事（建築・設備工事・仮設費等）補助</p> |

(4) 生きる力を育む、豊かな心を育てる次世代教育推進による定住促進事業 ～教育の力で温海を活性化～

市単独

| | | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|--|--|
| 令和3年度～5年度 | 1,894 千円 | 1,839 千円 | 4,897 千円 | <p>人口減少が進む鶴岡市温海地域において、次世代教育として注目されている「非認知能力を高める教育」に着目し、保育園児から小学校児童、そして中学校生徒まで一貫した生きる力を育む教育に取り組む。子どもの自尊心、好奇心、発想力、創造力を高め、学力だけでなく社会を生き抜く力、豊かな心を育てる教育を推進する。温海の教育方針・環境が保護者や若い世代に支持されることで、地域への定住化と温海の教育に魅力を感じる方々の移住化につなげ、地域活力の維持、コミュニティの存続を図る。</p> | <p>(1) 「生きる力を育む教育」ワークショップ及び研修等 ①地域の特色を体験できる保育園づくり ②地域内保育園年長児交流事業「福栄の日」 ③学校関係職員を対象にした研修会 ④講師アドバイザー契約業務委託</p> <p>(2) 先進地視察研修</p> |
|-----------|-------------|-------------|-------------|--|--|



令和4年度 地方創生推進交付金 活用予定事業

令和3年度以前からの
継続事業(10)

資料3



(5) SDGs未来都市推進事業

市単独

| 事業期間 | R3内示額 | R4計画額 | 事業費総額 (予定含む) | 事業の概要 | 令和4年度 具体的な取組・経費（予定） |
|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|---|
| 令和3年度～5年度 | 5,556 千円 | 3,344 千円 | 12,344 千円 | <p>本市の豊かな自然や伝統文化、産業などの資源を生かして市民、企業団体等が自分事としてSDGsに貢献する事業や活動等に取り組み、自律的好循環を生み出し、多様性のある持続可能なまちづくりを進める。SDGsの推進のために、市民向けフォーラムや小中学校等での出前講座の実施などの普及啓発を行う。また、意欲的な事業者等の掘り起こし、官民連携の取組を推進するために、SDGs登録等制度を構築するとともに、登録企業団体等と取組を推進する基盤づくりを行う。SDGsを原動力とする持続可能なまちづくりを進め、人口減少などの地域課題を克服して、地域の活性化を図り、地方創生SDGsの実現を目指す。</p> | <p>1 SDGs普及啓発・研修事業</p> <p>(1) 市民向けSDGs推進フォーラム開催経費</p> <p>(2) SDGs未来都市サミット等参加経費</p> <p>(3) 出前講座実施経費</p> <p>(4) SDGs推進視察・事例調査経費</p> <p>2 SDGs登録認証制度運用事業</p> <p>(1) 研修・セミナー経費、登録団体等の周知、PR等広報経費</p> |



(6) 庄内藩酒井家400年の歴史から学び、創造する、100年後の未来へつなぐまちづくり

市単独

| | | | | | |
|-----------|--------------|--------------|--------------|---|--|
| 令和3年度～5年度 | 24,180 千円 | 46,700 千円 | 79,380 千円 | <p>令和4年、徳川四天王の筆頭、酒井忠次を祖とする酒井家の庄内入部（1622）から400年の節目を迎えることから、記念事業を推進し、地域の活性化、観光誘客の促進、関係人口の拡大を図る。また、地域固有の歴史や文化を学ぶ機会を創出しながら、シビックプライド・郷土愛を醸成し、若者の地元定着・移住促進を図る。特に高校生からは、まちづくりの主体として参加を得ながら、その活動拠点を「令和の藩校」と位置づけるとともに、地域の企業等と連携して若者の人材育成や生業づくりを支援し、持続可能な地域社会の実現を目指す。</p> | <p>1 酒井家庄内入部400年記念事業</p> <p>(1) 酒井家庄内入部400年記念事業</p> <p>①普及啓発事業</p> <p>②情報発信事業</p> <p>③城下のまち魅力発信・交流人口拡大事業</p> <p>④庄内藩ミュージアム連携事業</p> <p>⑤歴史再発見魅力創出事業</p> <p>⑥みんなでつなごう事業</p> <p>(2) 事務的経費</p> <p>2 令和の藩校づくりプロジェクト</p> <p>○令和の藩校づくりコンテンツ制作業務</p> |
|-----------|--------------|--------------|--------------|---|--|



令和4年度 地方創生推進交付金 活用予定事業

令和3年度以前からの
継続事業(10)

資料3



(7) 誰もが居場所と役割を持って生涯活躍できる地域コミュニティづくり推進事業

広域連携

| 事業期間 | R3内示額 | R4計画額 | 事業費総額 (予定含む) | 事業の概要 | 令和4年度 具体的な取組・経費 (予定) |
|-----------|--------------|---------------|-----------------|---|---|
| 令和3年度～5年度 | 87,992 千円 | 110,562 千円 | 332,645 千円 | <p>誰もが居場所と役割を持って活躍できる地域コミュニティづくりを進めるため、生涯活躍のまちの各要素ごとに事業を展開する。</p> <p>また、各事業を各地域の地域運営組織を中心に推進するとともに、県内4ブロックの地域づくり支援プラットフォームにおいて広域的な事業推進及び地域運営組織の形成を促進することにより、県全域における生涯活躍のまちづくりを推進する体制を構築する。</p> <p>要素①交流・居場所 要素②健康 要素③活躍・しごと 要素④人の流れづくり</p> | <p>1 「交流・居場所」に関する事業</p> <p>(1) 地域づくり支援団体のネットワーク化、アドバイザー派遣、研修会開催等、地域運営組織の形成や地域づくり活動に対する支援</p> <p>(7) 地域間交流の促進や交通弱者対策として、地域の実情に応じた地域内交通を検討し、市営バスの運行やデマンド交通等を支援</p> <p>2 「活躍・しごと」に関する事業</p> <p>(2) ワークサポートルームにおいて地元の就職情報を収集するとともに、地元就職等に関する支援を行う</p> <p>(6) 図書館等において郷土に関する講座・イベント等の開催、住民参画のイベント企画組織の活動強化による連携の推進</p> <p>(7) 地域活動の企画運営に参画する中で次世代の地域づくりの中核を担う人材を育成するとともに地域間の連携を推進</p> <p>3 「健康」に関する事業</p> <p>(2) 過疎地域における高齢者等の「買い物対策」を推進</p> <p>【ハード事業】</p> <p>2 「活躍・しごと」に関する事業</p> <p>(2) ワークサポートルームに公共無線LAN設備を整備</p> <p>(6) 中央公民館、コミュニティセンター等に公共無線LAN設備を整備</p> |

(8) がんメタボローム研究支援事業

広域連携

| | | | | | |
|-----------|---------------|--------------|---------------|---|--|
| 令和3年度～5年度 | 106,868 千円 | 96,512 千円 | 299,836 千円 | <p>がん地域医療次世代モデル構築を推進するため次の事業（取組み）を展開する。</p> <p>① 国立がん研究センター東病院と荘内病院との医療連携において、がん治療の高度化に関する取組み</p> <p>②医療関連機器の開発や事業化など研究成果を活用した産業振興に関する取組み</p> <p>③研究者を志す地元高校生の研究活動支援や地域住民の健康増進に向けた啓発セミナーの開催など地域貢献の取組み</p> | <p>1 がん地域医療次世代モデル構築推進事業（補助金）</p> <p>①がん地域医療次世代モデル構築に係る人件費（研究者3名、研究補助者5名、事務職員3名）</p> <p>②がん研究に必要な消耗品費（試薬、薬品、細胞株など）</p> <p>③DNAに関する解析委託及び医療連携に向けた医療機関等との共同研究費</p> <p>④人材育成など地域貢献に係る経費等（国内外研究者対象のカンファレンス開催経費、県内企業向けセミナー開催経費等）</p> |
|-----------|---------------|--------------|---------------|---|--|



令和4年度 地方創生推進交付金 活用予定事業

令和3年度以前からの
継続事業(10)

資料3



(9) 他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業

広域連携

| 事業期間 | R3内示額 | R4計画額 | 事業費総額 (予定含む) | 事業の概要 | 令和4年度 具体的な取組・経費(予定) |
|-----------|-------------|-------------|-----------------|--|---|
| 令和3年度～5年度 | 5,000 千円 | 8,365 千円 | 21,730 千円 | <p>本県の多種多様な魚介類に恵まれる好漁場や母なる川「最上川」をはじめとする多くの河川や湖沼の魅力を活かし「やまがた創生総合戦略」に掲げる「付加価値の高い水産業の振興」の実現に向け、市町村等との連携により、水産関係事業者が個々の経営課題に応じて取り組む新たなチャレンジを支援するとともに、水産物の安定供給と魚価の向上、操業効率化に向けた取組みなどにより、他の規範となるリーダーや組織の確保・育成を推進し、収益性の高い経営体の確立を図り、漁村と内水面漁業地域の創生を実現する。</p> | <p>(1) 海面漁業成長産業化や内水面漁業・養殖業振興等の取組みへの支援に要する経費(内水面漁業団体による魚の自然産卵を促す河床清掃への補助 等)</p> <p>(7) 稚魚放流・放流効果を高める取組みへの支援に要する経費(海面及び内水面漁業団体による稚魚放流事業への補助 等)</p> <p>【ハード事業】</p> <p>(1) 海面漁業成長産業化や内水面漁業・養殖業振興の取組みへの支援(海面漁業者による大型マグロ漁獲に向けた設備導入や、水産加工品の高品質化に向けた設備導入への補助 等)</p> |



(10) やまがたの未来を担う元気な農林業人材(ひと)づくりプロジェクト

広域連携

| | | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-------------|--|--|
| 令和3年度～5年度 | 3,054 千円 | 3,099 千円 | 9,252 千円 | <p>意欲ある若者や女性、多彩なスキルを有する県外からの移住者や他産業からの農業参入を含め、地域農林水産業を支える多様な人材を広く確保・育成し、本県の基盤である農林水産業を活性化していくとともに、経営マインドや高度な経営・技術知識の習得やICT等の新技術導入により、生産性及び収益の向上を図り、将来を担う若者たちがチャレンジし希望の持てる農業環境づくりを進め、持続的に発展する農業県やまがたを目指す。</p> | <p>1 オーダーメイド型支援</p> <p>(1) 地域農業を支える組織的な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ぐるみの省力化や担い手確保の受け皿づくりの取組みに対する補助 <p>(2) 担い手の経営発展の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者や小規模経営体等に対し、経営発展のための必要な機械・施設の導入補助 <p>(3) 女性農業者の活躍促進の取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性農業者の更衣室やトイレ等の労働環境整備等への補助 ・女性農業者のネットワーク強化のための研修や交流会等 <p>2 ビジネスプラン策定支援</p> <p>(1) 農業経営相談所の専門家アドバイザーの派遣等</p> |
|-----------|-------------|-------------|-------------|--|--|



令和4年度 地方創生推進交付金 活用予定事業

令和4年度から実施予定
新規事業(4)

資料3



(1) 鶴岡サイエンスパーク魅力創造支援プロジェクト 市単独

| 事業期間 | R3内示額 | R4計画額 | 事業費総額 (予定含む) | 事業の概要 | 令和4年度 具体的な取組・経費（予定） |
|-----------|---------|-------------|-----------------|--|---|
| 令和4年度～6年度 | － 千円 | 5,000 千円 | 22,000 千円 | <p>鶴岡市では慶應義塾、山形県とともに鶴岡サイエンスパークに研究開発機能の集積と新産業の創出・育成の基盤となるハード・ソフト事業を進めてきたが、交流機能、ブランディング、受入体制が不完全との課題がある。そのため、（一社）鶴岡サイエンスパークを課題解決を实践する主体として官民連携で体制構築・強化し、本地域再生計画に基づく事業を展開することで、産業創出・活性化や関係人口の増加、地方創生に取り組む人材確保等を促進し、鶴岡サイエンスパークを拠点に「ひと」「しごと」の好循環を生み出し本市の地方創生に資する。</p> | <p>1 サイエンスパーク交流プログラム・ブランディング・体制構築事業 (1) 交付金（補助）で実施する事業 ・体制構築事業（人件費）（常勤スタッフ1人）</p> <p>(参考) 自主財源で実施する事業 ・交流プログラム構築事業 ・ブランディング構築事業 ・体制構築事業</p> |



(2) 食と食文化を軸とした交流・創造都市間連携促進による観光誘客プロジェクト 市単独

| | | | | | |
|-----------|---------|--------------|--------------|--|---|
| 令和4年度～6年度 | － 千円 | 22,783 千円 | 60,983 千円 | <p>これまで取り組んできた食文化体験・研修プログラムの活用と多様な食文化の資源を生かした持続可能な人づくりと地域づくりの推進、産業基盤の強化、交流人口・関係人口の拡大に係る取組により、国外との交流拡大が図られてきたが、世界的な情勢変化や国内における認知度が不足していることから、ターゲットの比重を国外から国内へ変更し、また新たな創造都市間連携による交流拡大、観光誘客促進を図り、持続可能な地域づくり、民間主体の取組促進による地域経済への波及効果を高めるため、3つの柱で事業展開を図っていく。</p> | <p>1 地域づくり・食文化の醸成・SDGs・ESDの推進 ①鶴岡ふうどガイド育成・活用促進事業 ②食・食文化×SDGs（ESD）事業 ※ESD：持続可能な開発のための教育（Education for Sustainable Development）</p> <p>2 料理人の育成強化と飲食店を含めた食関連産業の魅力向上・基盤連携強化 ①料理人等育成強化事業 ②若手料理人（新人料理人等）オリエンテーションセミナー事業 ③食関連産業育成支援事業 ④魚の美味しいまち鶴岡プロジェクト推進事業</p> <p>3 交流・観光誘客促進、関係人口の拡大の取組 ①食と食文化の魅力プロモーション事業 ②食文化研修プログラム等発信事業 ③ユネスコ食文化創造都市連携・交流事業</p> |
|-----------|---------|--------------|--------------|--|---|



令和4年度 地方創生推進交付金 活用予定事業

令和4年度から実施予定
新規事業(4)

資料3



(3) 鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS」を核とした農業の担い手の育成・確保事業

市単独

| 事業期間 | R3内示額 | R4計画額 | 事業費総額 (予定含む) | 事業の概要 | 令和4年度 具体的な取組・経費 (予定) |
|-----------|---------|--------------|-----------------|---|---|
| 令和4年度～6年度 | - 千円 | 45,209 千円 | 138,527 千円 | <p>本市では、有機農業をはじめ持続可能な農業の技術・経営を、座学と実習を通じて学ぶ場として令和2年4月に鶴岡市立農業経営者育成学校「SEADS (シーズ)」を開校した。</p> <p>農業に興味を持つ若者を地元はもとより域外や農外から受け入れ、将来的にコストや労力の低減が期待されるスマート農業教育などを進めることによって経営農地の拡大が進み、課題となっている農地の維持と地域農業の発展が期待される。</p> | <ol style="list-style-type: none"> SEADS研修生募集プロモーション 農業研修（座学・実習）の実施 SEADS施設運営・管理費 スマート農業教育の推進 新規就農者が整備する機械・施設等への補助 |



(4) 市民とともに、産官学が協働して地域課題解決するデジタル田園都市基盤の整備

市単独

Society5.0

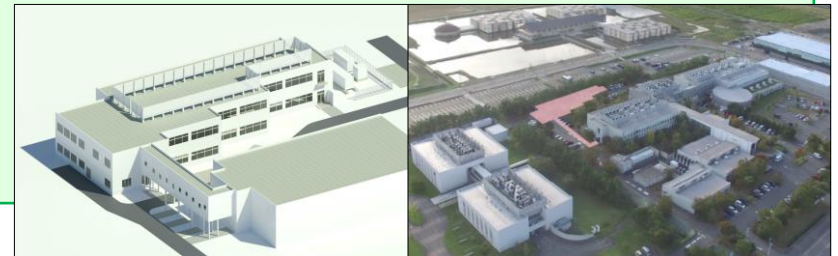
| | | | | | |
|-----------|---------|---------------|---------------|--|---|
| 令和4年度～8年度 | - 千円 | 104,930 千円 | 301,930 千円 | <p>①高い生産性と自立・循環的な経済を有する都市拠点 ②市民が将来にわたって健康で安心して生きがいの持てる豊かな地域を目指し、デジタル施策を実施する。</p> <p>いつでもどこでも市民向けサービスを提供するためのデジタルプラットフォームを構築・拡充する。そのことにより、デジタル上での市民への双方向での情報のやり取りや、防災情報の一元化、地域の活動に対する市民参画を実現する。</p> <p>また、中山間地域を対象としたデジタル化を行い、遠隔行政手続き、健康状態の無意識遠隔管理、鳥獣被害対策等に取り組む。</p> <p>デジタル化社会の担い手を創出するため、デジタル関連新規企業創発事業、学術機関と連携したデジタル人材・技術の育成を行う。</p> | <ol style="list-style-type: none"> 市民とともに地域企業・行政がサービスを向上させる田園都市におけるデジタルの構築 <ul style="list-style-type: none"> (ア) 住民向けプラットフォームのシステム整備 (イ) 防災情報の市民向け配信システムの導入 (ウ) 医療機関から市民に向けた通知等システムの実証 (エ) 関連デジタルツール等導入 市民とともに地域企業・行政が課題を共有・解決する田園都市におけるデジタルの構築 <ul style="list-style-type: none"> (ア) デジタルを用いた新しい市民参画の仕組みづくり関連デジタルツール等導入 (イ) 起業家育成プログラムの企画募集、運営費 (ウ) デジタル化の進展度と生活の満足度に関わる市民アンケート調査費 (エ) 学術機関と連携したデジタル人材・技術の育成 |
|-----------|---------|---------------|---------------|--|---|

令和4年度 地方創生拠点整備交付金 活用予定事業

(1) 先端バイオを核とした次世代イノベーション都市形成の実現に向けたサイエンスパーク機能拡充事業 (レンタルラボ拡張及びベンチャー成長・集積促進事業)

市単独

| 事業期間 | R3内示額 | R4計画額 | 事業費総額 (予定含む) | 事業の概要 | 令和4年度 具体的な取組・経費（予定） |
|-------------------|---------------|---------------|-----------------|---|--|
| 令和 2年度～ 4年度 | 652,604 千円 | 463,065 千円 | 1,135,677 千円 | <p>本事業は、世界から注目されるメタボローム解析技術や合成生物学技術などのコア技術がある鶴岡サイエンスパークに、健康・医療、農業・食品、新素材（構造たんぱく質素材）などの研究開発を行うベンチャー企業や関連企業・団体の更なる集積を図り、世界に貢献するバイオ分野の研究開発拠点の形成を促進するため、バイオ関連企業などの研究拡大や新たな企業ニーズに対応できる魅力あるレンタルラボ施設を増築するものである。</p> <p>令和2年度に入居中のベンチャー企業や入居希望企業等からヒアリングを実施するなどして、利用者の意見も取り入れた基本・実施設計を行い、令和3年度から令和4年度まで、鶴岡サイエンスパーク内に、スタートアップや事業拡大の需要にも対応できるレンタルラボ約20室を有する2階建ての新棟（F棟）整備を行う。</p> <p>具体的な機能等としては、スタートアップ等企業向けのレンタルラボや、事業拡大するベンチャー企業向けに3室から6室程度をつなげて利用できるレンタルラボを整備するとともに、入居団体同士の交流を促進するためのコミュニケーションラウンジや会議室、事務室などの整備もあわせて行う。</p> | <p>【建物本体工事（2年目）】</p> <p>①先端研究産業支援センターの新棟・F棟の本体工事（渡り廊下接続工事費含む）</p> <p>本体工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事 <p>【工事監理業務委託】</p> <p>先端研究産業支援センター新棟・F棟本体工事の設計監理</p> <p>※効果促進事業（市一般財源で実施）</p> <p>新棟・F棟内のユニット（カーテン、ブラインド等）工事及びF棟周辺の駐車場等外構を整備する。</p> <p>実施設計後に、電話機等の機器交換・改修、また施設の一元管理の必要性から集中検針機、分電盤設置の工事が必要となったことから、本体工事と並行し諸工事を行う。</p> |



※地方創生拠点整備交付金は、地方版総合戦略の計画期間（5か年度）を通じて1事業のみ活用が可能

地方創生推進交付金（内閣府地方創生推進事務局）

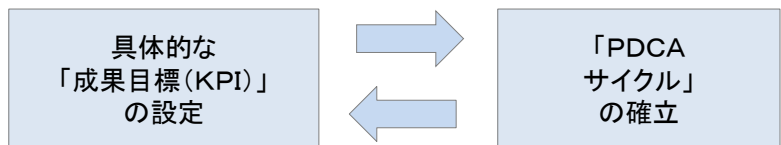
4年度概算決定額 **1,000.0億円**
(3年度予算額 1,000.0億円)

事業概要・目的

○デジタル田園都市国家構想による地方活性化をはじめ、未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動という喫緊の課題に対応するため、地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる先導的な取組を支援します。

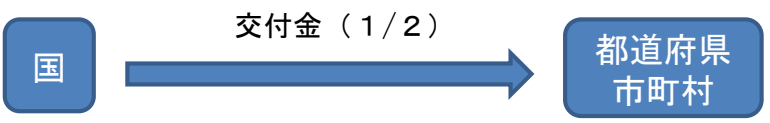
- ①地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組（デジタル技術の活用等を含む）を支援
- ②KPIの設定とPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組
- ③地域再生法に基づく法律補助の交付金とし、安定的な制度・運用を確保

【手続き】地方公共団体は対象事業に係る地域再生計画（概ね5年程度）を作成し、内閣総理大臣が認定。



※本交付金のうち一部については、地方大学・産業創生法に基づく交付金として執行

資金の流れ



(1/2の地方負担については、地方財政措置を講じます)

事業イメージ・具体例

【対象事業】

- ①先駆性のある取組及び先駆的・優良事例の横展開
 - ・官民協働、地域間連携、政策間連携、事業推進主体の形成、人材の確保・育成例) しごと創生、観光振興、地域商社、スポーツ・健康まちづくり、生涯活躍のまち、働き方改革、小さな拠点、商店街活性化 等
- ②Society5.0を推進するための全国的なモデルとなる取組
 - ・未来技術を活用した新たな社会システムづくりを支援

| | 交付上限額（国費） | 申請上限件数 |
|--------|-------------------|----------------------|
| 都道府県 | 先駆3.0億円 横展開1.0億円 | 6事業 ※広域連携事業は3事業まで追加可 |
| 中核中核都市 | 先駆2.5億円 横展開0.85億円 | 5事業 ※広域連携事業は2事業まで追加可 |
| 市町村 | 先駆2.0億円 横展開0.7億円 | 4事業 ※広域連携事業は1事業まで追加可 |

※Society5.0タイプは都道府県・中核中核都市・市町村ともに交付上限額(国費)3.0億円、申請上限件数の枠外

- ③わくわく地方生活実現政策パッケージ（移住・起業・就業支援）
 - ・東京圏からのUIJターンの促進及び地方の担い手不足対策
- ④複数年度にわたる施設整備事業（地方創生拠点整備交付金）

【デジタルシフトへの対応】

- 先駆タイプ（最長5年間の事業）の新規事業において、デジタル技術の活用・普及等の取組を事業内容に含めることを、申請の要件とします。
- 横展開タイプ（最長3年間の事業）の新規事業において、デジタル技術の活用・普及等の取組を事業内容に含めることを、原則として、申請の要件とします。
- 地方創生拠点整備交付金については、補正予算分と同様とします（審査において一定の加点を付与、効果促進事業の割合の上限を一定の引上げ）。

【わくわく地方生活実現政策パッケージにおける地方創生移住支援事業の拡充】

- 移住支援金について、これまでの単身最大60万円、世帯最大100万円に加え、世帯で移住する際に、18歳未満の帯同人数×最大30万円の子育て世帯加算を拡充。

期待される効果

- 地方における安定した雇用創出、地方への新しいひとの流れ、「まち」の活性化など地方創生の推進に寄与する先導的な取組（デジタル技術の活用等を含む）を通じて、地方創生の充実・強化につなげます。

地方創生拠点整備交付金（内閣府地方創生推進事務局）

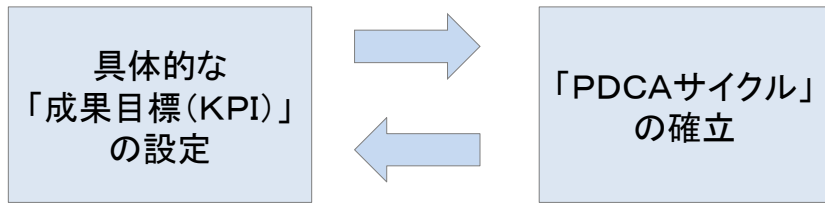
令和3年度補正予算額 460.0億円

事業概要・目的

○デジタル田園都市国家構想による地方活性化を始め、未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動という喫緊の課題に対応するため、地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる先導的な施設整備等を支援。これにより、所得や消費の拡大を促すとともに「まち」を活性化させ、地方の定住・関係人口の拡大にも寄与。

- ① 地域の所得や消費の拡大を促すとともに「まち」の活性化につながる先導的な施設整備等を支援
- ② KPIを伴うPDCAサイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組

【手続き】地方公共団体は、対象事業に係る地域再生計画を作成し、内閣総理大臣が認定



事業イメージ

【対象事業】

○具体的な重要業績評価指標（KPI）の設定及びPDCAサイクルの具備を前提に、「地方版総合戦略」に位置付けられた（又は予定された）事業であって、十分な地方創生への波及効果の発現を期待できるもの

【交付上限額の目安】（1団体当たり）

| | 都道府県 | 中枢中核都市 | 市町村 |
|---------|--------|--------|-------|
| 目安（国費分） | 15億円程度 | 10億円程度 | 5億円程度 |

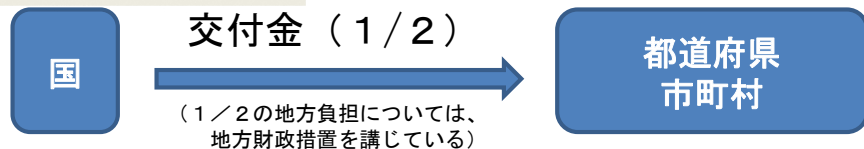
【主な対象施設のイメージ】

- ローカルイノベーションを起こし、観光や農林水産業の先駆的な振興に資する施設
- 地方へのひとの流れを飛躍的に加速化し、地方への移住や起業等に確実につながる施設
- 地域における多様な働き方を先駆的に実現し、女性や高齢者の就業を効果的に促進するための施設
- 地域での魅力的なまちづくりを実現し、交流人口の拡大や地域の消費拡大に効果的に結びつく施設

【デジタルシフトへの対応】

- デジタル技術の活用を促進する施設の整備等について、審査において一定の加点を付与
- 効果促進事業の割合の上限につき、デジタル技術の活用に要する経費を含む場合に一定の引上げ

資金の流れ



期待される効果

- 地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる施設の整備等により、所得・消費の拡大や「まち」の活性化、地方の定住・関係人口の拡大に寄与し、地方創生の充実・強化につなげる